

創立 20 周年を迎えて

YUHO 有朋

University of Marketing and Distribution Sciences

No. 18 2012.01
有朋会 流通科学大学
同窓会報

CONTENTS

- 20周年記念座談会
20年の宝物が語ります
- 先生からのメッセージ
好奇心を胸に、前へ踏みだそう
- 第6回ホームカミングデー特集
懐かしい顔、嬉しい顔がみられます
- 活躍する同窓生からのメッセージ
さまざまなシーンでいきいきと活躍する同窓生
- 学園祭／集まれ! 同窓生
懐かしい元気な顔が見られます
- 総会報告
- 支部活動紹介
9支部からの報告
- 同窓会報告
中内功ゼミ(創成塾)同窓会
女子ラクロス部OG会総会&懇親会
男子バスケット部OB会
- 有朋会イベント
第2回実学サロン／日帰りバス旅行
- 学内ニュース
- 事務局からのお知らせ
クラブ活動成績／ホームページ案内



有朋会 20周年座談会

2011年10月30日

～同窓生は有朋会の宝であり
流通科学大学の宝～

有朋会が創設されたのは、第1期生が卒業した1992年。以降、有朋会の会員である流通科学大学の同窓生は、さまざまな分野で活躍しています。

有朋会創設周20年にあたり、1期生をはじめ各世代の同窓生をお迎えし、長い間「有朋会の母」として事務局を支えてきた前村さんを交えて、流通科学大学での懐かしい思い出話で大学や有朋会の歴史を振り返り、さらに現在の仕事、同窓生同志の交流などについて語り合っていました。

※会社名・内容等は、2011年10月30日の座談会開催時のものです。

流通を科学する開かれた大学

まずは自己紹介をお願いします。

柳澤 1992年卒業の柳澤、旧姓鳥尾です。1期生です。卒業後はNECに入社し、2009年までお世話になっていました。結婚し40歳にしてはじめて専業主婦になり、主婦としてのいろいろなことがあるのだと実感しています。



柳澤(旧姓・鳥尾)聡子さん
1992年 3月
商学部流通学科卒

田崎 私は1994年卒、3期生です。

おじの田崎俊作が創業した田崎真珠に就職し、15年ほど販売筋でしたが、その後会社の経営が変わり、今は外資系ブランド出身の社長のもとでマーチャンダイザーの仕事をしています。今から流科大に入ったらすごくためになるかもしれませんね。

小室 1997年卒、6期生の小室です。

私は在学中から公認会計士の勉強をして、卒業後も専門学校に通い、1998年に公認会計士の二次試験に合格しトーマツに入社しました。企業の会計監査の仕事を4～5年経て、今はコンサルティングを中心とする部署で財政状況の厳しい地方自治体のお手伝いをしています。たまたまその方面の仕事をしている公認会計士が少ないので、総務省のいくつかの委員や、大学の非常勤講師、雑誌の連載などいろいろなことごとくしています。

上月 1999年卒、8期生の上月、旧姓佐久間です。仕事はホスピタリティオペレーションズ神戸といまして、神戸西神オリエンタルホテルで働いています。流科大とホテルは縁が深く、私の入学式も西神オリエンタルホテルでしたし(笑)、学生の頃からホテルでアルバイトをして、そのまま新卒という形で就職し今に至っています。ずっとレストランで勤務していましたが、いま営業になって3年目で、流科大の担当をさせて頂いております(笑)。神戸で生まれ育ち、大学も仕事も神戸という生粋の神戸っ子です。

里内 私は2004年卒業の13期生です。情報学部経営情報学科でシステム関係を学んで、新卒で味の素システムテクノに入社し、人事システムを6年くらい手がけました。今年2月からは世界最大の経営コンサルティングファームであるアクセンチュアに転職し、ITコンサルティングに従事しています。

前村 私は1994年から有朋会でお世話になり、今年で18年目になります。2012年3月に退職することになり、有朋会の20年を振り返るということなので、場違いかもしれませんが、今日は座談会のお仲間にいれさせていただきます(笑)。



前村和子さん
1994年 10月
有朋会事務局着任

——久々の母校は、変わりましたか？

柳澤 大学が大きくなったと感じました。私たちが入学した時は何もないところに来たという感じで、サークルも学祭も自分たちで作らない限りは何もかもないというのを思い知らされ、これは大変な学生生活になるのでは？と実感しました(笑)。

上月 1年生だけだったのですよね？

柳澤 われわれより年上の人は、職員の方々と先生だけでした。だからほかの大学に行った友人の話が羨ましかったですね。

田崎 私たちの頃も似た感じでした。入学直後もサークルの勧誘はほぼなく、高校入学の時よりもあつけない感じ、まじめに授業に出て、帰ってバイトするという生活でした。学生は男子ばかりでやたら元気があって、ほかの大学の方々とも交流を深めました。



田崎博樹さん
1994年 3月
商学部流通学科卒
田崎真珠株式会社

上月 当時地元では結構有名でした。流科大のレストランは夜も営業していて、家族で食事に行きましたよ。

田崎 お酒が飲めるのはびっくりしました。調子に乗って昼から飲んだり(笑)。
里内 私たちの時もまだダイナーはありました。ダイナーで飲んだり、ローソンでビールを買って食堂で飲んだりしました。

——中内功前学園長の思い出はありますか。

柳澤 2・3年生の頃にダイエーがホークスを買収するという噂があり、中内功さんの特別講義で学生から「ホークス買収の話は本当ですか？」と質問があがったんです。そしたら中内功さんは「そんなのある訳ない」とお答えになったのですが、次の日、新聞を見たら「ダイエーがホークス買収」と出ていてビックリしました(笑)。

上月 私は流通調査隊に入っていましたので、中国に調査に行った際に中内功さんが来られました。あと、チャリター部で呼び込みをするのに、中内功さんを引き込んだこともあり(笑)。ですから就職しても顔を覚えていってください、職場に来られた時も握手して下さり感激しました。学生にはやさしかったですね。



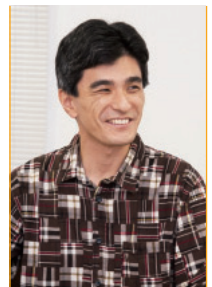
上月(旧姓・佐久間)愛さん
1999年 3月
商学部流通学科卒
株式会社パルティオレーション

前村 学生や同窓生とお話しされる時はとてもやさしいお顔になるんですよ。

柳澤 毎週ハガキをくれるおじさん、という感じでしたね。最初「合格おめでとう」というハガキが来ましたが、父はダイエーの社長からハガキが来ると驚いていました。

小室 ハガキで今でも覚えているのは、「人財たりあれ」というものです。人

材には「人財」「人在」「人罪」の3種類ある。だから「人財」になりなさいと。



小室将雄さん
1997年 3月
情報学部
経営情報学科卒
監査法人トーマツ

キャンパスでの経験を糧に

——流科大で経験したことは、仕事にどう結びついていますか。

里内 大学時代に学生向けのパンフレットを作っていました。その活動を通して、自分たちでコンセプトを決め、取材して、記事を作って、最後に中内功さんにプレゼンして発行の承認をもらうという一連のプロセスを経験しました。これはシステムのインプリメーションでもコンサルティングのプロジェクトでもベースは同じで、この経験は役に立っています。また、何名か学生が集まって、オープンキャンパスを学生が企画・運営するようなこともはじめました。流科大は主体的に「こういう事をしたい」といえば、その場を提供してくれる大学でした。



里内良平さん
2004年 3月
情報学部
経営情報学科卒
アクセンチュア株式会社

前村 確かに教職員も、学生さんの「やりたい」という熱意をできるだけ汲んでトライさせてあげようという姿勢が常

にあったと思います。

田崎 3年生の時、このまま平凡な大学生生活ではいけないと思い、「自分改革」をしました。とにかく何か変えるために、非日常の体験をしよう、実は隠れて学校の芝生のところに勝手にテントを立てて泊まった事もあります(笑)。当時アウトドアはまだマイナーな世界で、同じ空気感のもと集まった少しマテック？な仲間とその後、楽しいクラブ活動を始めました。それが、今の「遊走隊」です。海外の旅こそ非日常なので自然と語学にも興味を持つようになるんです。私は1・2年生の時は中国語の単位を落していたので得意科目ではなかったのですが、習った言葉を現地を使ってみると意外と通じるので楽しくなりました。勉強しなおすようになりました。4年生まで中国語を学びながら実際に使ってみるということを繰り返してきました。中国では流通調査隊の方や中内功さんともお会いしました。当時、第外国語で中国語を選択できたのは流科大くらいだったのではないでしょうか。その後社会人になり、会社が中国に進出することになったのですが、再履修で基礎を4回も学んでいるので(笑)中国語はバッチリ覚えていました。特に発音に厳しい先生でしたので役立ちました。流科大は語学ひとつにしても実践的だったと今になって思います。

上月 私、家からバスで一本だったし、毎日学校へ来ていたんです。特にチャアは、「チャアガール」から「チャアリーター部」に認識を変えてもらえるように懸

命に活動しましたね。体育会の活動にも携わって、夜遅くまでかかかって会報誌を作っていました。

前村 毎日大学で見かけましたもんね。

上月 ですから今、営業で流科大に来ても、昔からいらつしやる方は私を知らない人がいませぬ(笑)。学生の時はみなさんとっても真剣に対応してくれました。チャアに入ろうか迷っていた時も、職員の方に部室まで連れて行ってもらったんですよ。私にとつてのターニングポイント

は、やっぱりここで過ごした時期ですね。

小室 たまたま家の近くにあったローンでアルバイトするようになって、情報学部だったのでPOSシステムについて授業で学んでいたこともあって面白くて、ほかのローソンはどうなっているかと自転車で行ける範囲のローソン約20店舗に行ったりしました。で、たまたまそこでアルバイトしていた人と結婚したりとかですね…。

全員 おっ！

小室 就職後にダイエーグループの会計監査を担当し、ローソンの棚卸しの監査に行くことになったのですが、たまたまその行き先がその元バイト先でした。それと、法人監査でこの大学の監査も担当していますが、学生時代の勉強が仕事につながって母校に来られるとは(笑)。

前村 不思議な巡り合わせですね。

田崎 トーマツさんにはうちも毎年お世話になっています。

小室 会社が生まれ変わる前後を知っていますよ。

田崎 昭和の創業者の時代から世代交代の時期を迎え、世の中も変わってきましたね。

柳澤 仕事のやり方も変わりましたよね。

田崎 これまではトップの人たちが気に入るプレゼンをすればよかったのですが、それが今同じようにやると「ロジックは？数字の裏付けは？」と訊かれてしまいますよね。

柳澤 ですから人材教育でも「ロジック立てとは？」「仮説とは？」というのをやりはじめたのも同じ時期でしたね。

田崎 でもそれが当たり前。私はおじの会社で特に恩恵があつたわけではないんですけど、精神的に甘えがあつたと思います。それが無くなって厳しい世界になって、最低限のことは当たり前でできておかないといけない。外資系の最新のやり方に切り替わって、黙々と働く不言実行から目標を明言する有言実行になったことで、はじめて評価がフェアになったと思います。

里内 学生の頃も根拠のない大きな事を言つとダメだったですよ。ゼミの三道先生が理系だったこともあり、ロジカルさを鍛えられました。

上月 Roy「alkoゼミもまさにそうで、プレゼンの仕方とか話し方とか、そんな授業ばかりでした。先生がプリンタを買う時、ゼミ生のどれが一番優れているプリンタか？のプレゼンを競わせ、プリンタを購入されました(笑)。

今もたまにプレゼンしますけれど、その経験は役に立っています。ゼミは印象

に残りますよね。

田崎 私は吉田順「ゼミだったので、ゼミに来るなら本を読んでくるのが当たり前というのが衝撃的で、予備知識なしで授業に出るのは失礼だと怒られるんですよ。

柳澤 私も吉田先生に怒られました(笑)。

田崎 でも、今ではそう思います。いま仕事で新商品の説明を販売員にしているのですが、事前に資料を渡しても読んできている人とそうじゃない人の理解度の差が激しいですよ。読んできていれば同じ時間で深い話ができる。ゼミと同じですね。マーチャンダイズの仕事は仮説を立て自分なりの結論はあるんですけど、正解がないのです。でも、正解がないからといって仮説を立てなくてもいいというのは間違いで、マーケティングがある程度方向性を打ち出し、現場がそれに従って貪欲にやるといふ両輪が必要だと思つたのです。そう思えるのも吉田先生のおかげです。

小室 公務員相手ですと、前例を否定することがいけないという意識があり、それを変えることは一筋縄ではいきません。理論で攻めても実態に合わないこと否定…(苦笑)。ですから逆に、自分たちが動くことによってどうなるのかという姿をまず見せて、さかのぼっていくというアプローチが有効ですね。

同窓生との縁をつむぐ有朋会

— 今でも流科大や有朋会、同窓生と





の結びつきはありますか？

上月 営業に来させてもらっています。いつ来ても、顔馴染みの方に出会えるのが嬉しく、卒業生がそれぞれの商品をPRできる広告ブックも用意していたでいます。(笑)それが縁で同期から連絡がありました。最近、私の古くからのお客様が流科大の非常勤の講師になられたんですよ。いまだに人のつながりがあつて、地元の流科大に入学して良かったと思っています。

柳澤 人のつながりって大事だと思いがちです。忙しい仕事中心の生活をリセットしたのですが、今までないがしろにしていた人とのつながりを大事にしようと思つたときや、何か新しい勉強をはじめようとしたときに頼りにしてしまふのが母校なんです。

ますよね。忙しい仕事中心の生活をリセットしたのですが、今までないがしろにしていた人とのつながりを大事にしようと思つたときや、何か新しい勉強をはじめようとしたときに頼りにしてしまふのが母校なんです。

大学ってとても素敵だと思います。最後に、同窓生に向けてメッセージを。
柳澤 卒業して20年経つと、同じゼミでもどこに住んでいるのか何をしていのか一部しかわからなくなつてきているので、フェイスブックなどで交流したり、もう一度何かの機会で会えたりすればいいですね。

里内 コアな付き合いがあつた友人とは、毎年集まつたりしています。三宮で会つたり、甲子園で会つたり(笑)。同じ社会人でも業種や職種が違つて感じるところが違つて思ひますし、やはり先輩の意見は参考になりますので、世代をこえて集まる機会があればいいなと思います。

田崎 私は35歳の時にマラソンをやろうと決意し、何歳になつてもやるぞという気持ちと、諦めない気持ちがあれば何でもできると完走して思いました。いま会社まで往復25キロを自転車で行っているんですが、いつかトライアスロンに挑戦したい。仕事以外でも目標を作つて、チャレンジ精神をなくさないようにしたいですね。40歳を20歳だと思つて、みなさんにもチャレンジしてほしいですね。

小室 監査をすると学内のいろいろな方にお会いするのですが、ここに来ると先輩や後輩がいらつしやるので話はしやすいですよ。監査というちよつと違つた目で大学を見ると、開学以来無借金経営を続けてきた大学ってなかなかありませんから、そういう意味でも誇れる大学なのではないかと思ひます。有朋会も20周年を迎え、大学もそろそろ世代交代の時期ですね。

小室 私は公認会計士の試験を何度も受けて勉強しているうちに諦めない気持ちに身が付いたと思つたのですが、それは大事だと思ひます。折れそうになつた時も自分の信念を貫いて生きていくことも大切だと思ひます。その中、人と同じことをやるのではなく、人と違うことで世の中の役に立てることができればいいですね。

前村 何もわからずここに来て、最初は学生課と同窓会の両方を担当していましたが、数年後同窓会専属になりました。同窓生がいつでも帰つてこられて、リセットしてまた羽ばたいていくような場であればいいかなど、それだけを思つてやってきました。学生の頃どうかなと心配するようになっても成長して何年か後に帰つてきてくれる。それを繰り返し見ていると、うちの

上月 メッセージというよりは、自分の今後の抱負になります。私は、高校はバレー、大学はチャリーダー、社会人になつてから最近までフラメンコを習つて仕事にプライベートにずっと突っ走ってきました。こうして家の手伝いも

せずに、自分の目標に向かって走り続けてこられたのは母親のおかげと家族の応援があつたからこそです。今後は、自分が新しい家族での母のような役割を果たしていきたいと思ひます(笑)。
里内 同じ業種だとしても似たりたタイプの人が集まつてしまいます。外の交流の場として、有朋会はその原点になるのではないかと思ひます。例えば、この前のホームカミングデーでは、久々に再会した人や卒業後はじめて会つた人もいて、彼らが頑張つているのが自分の励みになるし、自分がいる世界と違う人たちと接することいい刺激になります。これからも有朋会を上手に利用していきたいと思ひます。

前村 有朋会が交流の場を提供することによって異業種の繋がりができたら素晴らしいと思ひます。同窓会組織ができて20年。同窓生は今はまだまだ若いです。これからどんどん社会で実績を重ねていきます。有朋会が核となつて、同窓生同士の繋がりが、大学と同窓生との繋がりを大切に育てていけば、他の大学と違うものができるとはなかなと思ひます。有朋会には私にとつて職場ですけれど、卒業生をはじめとしていろいろな方と出会えて得るものが多く、成長させてもらつたと感謝しています。同窓生は有朋会の宝であり、流通科学大学の宝です。



Eternal Optimism

サービス産業学部 観光学科 教授 近藤勝直

有朋会20周年、誠におめでとうございます。開学時より着任している私は24年目を迎えることとなります。古人いわく「光陰矢のごとし」。長いようであつという間の年月でした。どおりで最近、齢(よわい)を感じる今日この頃です。開学時の「超」人気の流通科学大が昨日のこのように思い出されます。当時は学生も教職員も少なく「家族のような」大学でした。学生との距離も近く、教職員もよく飲み会をやりました。文字通りコンパクトでキラリと光る大学でしたが、最近は学生数も4000名ほどとなり、大学の個性が見えなくなりつつあるのが残念です。こういうときは初心に還ることが求められます。建学の祖・中内功さんの残された言葉「ネアカのびのびへこたれず」は名言だと思っています。本学学生の最大の売りは「明るさ」です。これは社会からも求められていることです。2010年にノーベル化学賞を受賞された米パデュー大学の根岸英一教授が受賞後に雑誌インタビューで、「ノーベル賞をとる秘訣は?」と

の問いに、「Eternal Optimismです」と答えている。直訳すれば“永遠の楽観主義”となりますが、流科ふうに表示すれば、まさに「ネアカのびのびへこたれず」というところでしょうか。何度実験に失敗してもめげることなく繰り返し挑戦する心が一番の基本で、これが新しい発見につながると解説されている。すでに社会の中堅で活躍されている先輩諸君、これから巣立って行かれる諸君に、この日英の言葉を贈ります。



卒業生とともに

サービス産業学部
サービスマネジメント学科 教授 西尾範博

有朋会20周年に心からお祝いを申し上げます。私が流通科学大学というステキなご縁をいただいたのが1988年。当時の私は29歳。私の未熟な講義に、新入生全員が一言ももらすまいと耳を傾け、ノートテイクしていた光景が今でも脳裏に焼きついています。やがて第一期卒業生が社会に巣立ち、有朋会の20年の歴史が始まりました。私のゼミも有朋会の設立から遅れること2年、96年に第一期生を送り出しました。以来、今年で220名の卒業生が社会で活躍しています。そして学園祭には毎年6~8学年50名前後の卒業生が訪れてくれ、在学生との絆を深めています。日常的には卒業生(年に10名前後)が木曜日のゼミの時間に現れてくれます。そのたびに「卒業生が社会人の今を語る」という時間を設けています。また、卒業生たちが仕事帰りに一緒にご飯を食べながら互いの近況を報告しあう場に招かれたり、「久しぶりに話したい」と食事誘われたりすることが年に10回前後あります。卒業生の結婚式にも年に4~6回招かれています。私にとってこの20年は、卒業生とともに

歩み、卒業生に教えられ育てていただいた20年でもあります。大変有難いことだと感謝しています。有朋会のますますの発展と、皆さまのますますのご多幸とご活躍を心よりお祈りしています。

流通科学大学の今昔

サービス産業学部
サービスマネジメント学科 教授 蜂屋真



開学以来24年という年月が過ぎましたが、卒業生の皆さまには、お元気でご活躍のことと存じます。私は、サービス産業学部のサービス心理コースのコース長として、元気にやっております。紙面を借りて、本学を取り囲む内外の環境の変化を少し述べさせていただきます。ダイエー学園都市店にあった、おいしいケーキ屋さんと毎日閉店セールをやっていた宝石店は、それぞれドコモショップと靴屋に、皆さんのレポートをよく読んだ、板宿の喫茶店「古時計」と「青山」は、それぞれ“すき家”と“松屋”に変わりました。様々にトッピングしたオムレツを注文に応じて提供してくれた大学のレストランは、今や他の大学の学食と変わらなくなりました。昔はちょっと油断すると昼食代は1000円を超えましたが、今は500円で充分です。開学当初は、多くの受験生が押しかけ、入学者には就職試験のSPIに苦勞する学生は皆無でしたが、今は、少子化の影響で受験生が減り、SPIに難渋する学生が多くなりました。しかし、今も昔も流通科学大

学生の気質は変わりません。今の学生も昔の学生と同様、明るく元気で、ユニークな流通の研究に取り組んでいます。私のゼミには、「クレームの心理学的研究」に取り組んでいる2回生がいますが、この研究が将来どのような卒業研究として結実するか、横から見ていてワクワクします。卒業生の皆さん、これからも流通科学大学を暖かく見守り、応援して下さい。私たち教員も頑張ります。

有朋会設立二十周年によせて

商学部 商学科 准教授 濱本隆弘



流通科学大学同窓会有朋会の設立二十周年を心よりお慶び申し上げます。初年度より本学に勤務し、29歳だった私も52歳となり、まさに20年余を流科大と共に歩んでまいりました。新入生を迎える度、卒業していった皆様の面影を彼らの中に垣間見ることがあり、今でもキャンパスのあちこちから皆様の明るく元気な声が聞こえてくるようです。季節は流れ、時は過ぎ、皆様がキャンパスから去っても、その思い出はこの大学や私の心にしっかりと刻み込まれています。昨今、大学を取り巻く環境も激変し、流科大の社会的存在価値や独自性を維持していくことは容易ではありません。しかし、流科大は建学の精神に基づき、教職員と学生が強いアイデンティティーをもってこの変化の時代を乗り越えていこうとしています。今後は、卒業生の皆様のより一層のお力添えも、大学発展の大きなエネルギーになると信じております。母校は卒業生と常に共にあるべきものと考えております。ただ昔を

懐かしむという存在だけではなく、今、社会人として働く皆様との相互コミュニケーションの中で、共に歩む存在でありたい、同窓会はそんな役割を担っているのではないのでしょうか。最後に、私の恩師が同窓会の折に述べられた言葉を記したいと思います。「社会人になったら、笑って同窓会に出席できるよう、日々努力、精進しましょう。笑顔で同窓会に出席できること、それはとても幸福なことだとは思いませんか。」有朋会には、いつもそんな幸せな笑顔溢れる集いの場であっていただきたいと思っております。最後になりましたが、流通科学大学同窓会有朋会の今後のご発展を心よりお祈り申し上げます。

今年も開催されました、

第6回ホームカミングデー!



初めて来場した同窓生から毎年皆勤で参加してくれている同窓生まで様々な顔がずらり。

大学に集い語りあえば改めてまた流科大の同窓の絆を強く感じることができました。懐かしの先生方が参加してくださると十年以上ぶりの再会です。

久しぶりに見え喜び合う場面もあちらこちらでありました。卒業してすぐでも何年たっても皆さん変わりません。大学に戻ると学生時代に戻ったかのような笑顔が広がります。

在学生から同窓生、教職員まで世代を超えて交流しながらいける場がここにあります。家族での参加者が増えてきているのも嬉しい限り。

来年には20周年を迎える有朋会の歴史が少しずつ刻まれていっているのを感じます。

来年もまたここで会おうね! そういって楽しみにしてもらえるホームカミングデー。

次回の開催もお楽しみに!



つながる輪、つながる絆。
世代を超えて交流が続きます。



同窓生による
一日限りの
バンド結成!



イベントも
大盛り上がり!



Feelings & Challenge

社会に出たくないと思っていた 女の子が世界トップクラスの 生保営業スペシャリストに

実は、最初は就職する気がなかったのです。ちょうど就職氷河期で、どこからも内定がもらえず、たまたま第一生命から採用されたのです。その頃は社会に出るのがいやだったのですよ。就職するならできれば

事務職で、家から近くて、5時に仕事が終わって、土日が休みのところがいいなって…今思えば、だいぶ甘かったですね（笑）。入社して1年目も体が弱くて、ずっと休んでいたのです。後で上司から聞いたので

すが、「この子は辞めるだろう」と思われていたそうです。でも、憧れている上司がいて、その上司が「なぜこんなに私のために頑張ってくれるのだろう」と思うくらい動いてくれて、やる気のなかった自分が申し訳なく思うようになったのです。それで、その上司が喜ぶ事ってなんだだろうと考えたら、営業で1番になって恩返しすることだろうと。それから、「誰よりも断られなさい」という上司のアドバイスを胸に、誰よりもたくさんアポを取って動きました。そうして断られ続けているうちに余計に燃えて

伊藤 理沙さん プロフィール

2002年 3月 情報学部経済情報学科卒

第一生命保険株式会社大阪コンサルティング営業室大阪第三オフィス指導所長・特別営業主任。卒業後、第一生命保険株式会社に入社、2年目に大阪コンサルティング営業室で営業成績1位に。さらに9年目より世界中の生命保険・金融サービス専門職のトップクラスのメンバーで構成されるMDRT (Million Dollar Round Table) の会員資格を取得。

(笑)、「この人をお客さんにしてみせる！」と、セミナーに参加したり、ビジネス書や心理学の本を読んだりして、保険のことはかりではなくもつとお客様の気持ちを引き出すような接し方や話法を学んだのです。保険会社っていっぱいありますよね。でも、基本的な形にそう大差はないのです。ですので、保険は人で選ぶ商品なのです。いかに「私で買ってもらえるか」と、自分だけじゃなくて、タイガースのチケットを用意させていただいたり、お医者さんの良いところを紹介したり、出張で来られる方のホテルを安く用意したりとか、あらゆる「ネクシオン」を使ってあらゆるサービスをさせていだと、私に保険を任せたらほかでも得するよと思っていただけのようになつたのです。この「差別化」は大きいと思います。

そんな努力が実を結び、入社2年目の成績で支社ナンバーワンになりました。その時上司に褒められるかと思いきや、「23歳の小娘が1番になるなんて、うちの支社も世も末だ」と言われたのです。それでまた燃えたというか、支社で1番になつてもこの上司は評価してくれないと思つて…それでMDRTを目標に定めたのです。

MDRTとは全世界の生命保険営業職のトップクラスのメンバーで構成され、本部は米国にあります。毎年ある一定の契約高以上の成績を2年連続して収めてはじめて認定され、毎年アメリカでおこなわれる会議に出席できる権利が与えられます。私は7年目8年目の成績により9年目にしては

じめてMDRTになることができ、今年で2年連続MDRTとして継続し、現在3年連続で基準の契約高を達成しています。MDRTを達成できているのは、本当にお客様と仲間、家族に支えられているから。感謝しかありません。

仕事は会社から割り振られた企業さんを担当し、その中で営業活動をおこないます。昼休みのタイミングが勝負です。毎日通つて知り合いが増え、またその紹介で輪が広がつていき、信頼関係を築いていきます。私は聞き役に徹してお客様のいろいろなお話を伺い、あまり保険の提案はしません。お客様が「見せてよ」という感じになるまでも見せません。商品を出さないのはポイントかもしれません。

流通科学大学に入学したのは、家が近かつたから(笑)。でも、ダイエーの中内さんが設立した大学ということで興味はありました。ダイエーをつくつた人が大学をつくつたつて、新しいですよ。学生時代はバイトと授業という感じでした。真面目だったので、前夜に12時くらいまでバイトをして1限から授業に出るような生活をしていました。関ゼミでは国際マルチメディア論を学んでいました。今のマーケティングの基礎として役立ついるかもしれませんね。三道先生の授業は印象に残っています。授業で学んだプログラミングは今の仕事とは直接関係ありませんが、そのような関係の仕事の企業を担当していますので、話題の接点に役立っています。

母校で思い出すのは、就職課(現キャリア開発課)の方のアツいところですね。落

もつともつと流科大の後輩たちに 入社してもらつて有朋会第一生命支部を 創設したい!

ちまかつていた私を励ましてくれましたし、第一生命を紹介してくれたのも就職課の方です。から、とつても感謝しています。社会に出たくなかと思つていた私でも、ここまでできるよになりました。営業なんて自分次第、学歴は関係ありません。流科大生にはもつと第一生命に入社してもらつて、いつか有朋会の第一生命支部をつくりたいですね。

先日、大阪オフィスでおこなわれた実学サロンに出席し、はじめて有朋会の活動に参加しました。実学サロンに参加する人は仕事を頑張っている人が多いですから刺激を受けましたし、たまたまゼミが一緒だった同窓生がいてビックリしました。同窓会がそついつ機会を設けてくれるなんて、すばらしいと思いましたね。

同窓生とはフェイスブックなどを通して連絡し、たまにお茶したりしています。もちろんこちらから同窓生に保険の営業をすることはありません。でもMDRTになつてから、新聞に載つたなどの情報は発信しています。すると、友人から相談したいと連絡が来たりします。友人に本業でお役に立てるのはとても嬉しい瞬間です。最後に私のキャッチフレーズを!伊藤だからといって保険だと思わないでください。でも、保険だと思つたら伊藤を思い出してください(笑)。



「書く」という仕事の原点になっているのは学生時代のレポート

山原 明彦さん プロフィール

1993年 3月 商学部経営学科卒

ペンネームは「桃山透」。卒業後、リース会社、コピーライターなどを経てフリーライターに。ビジネス書、実用書、医学書などの執筆・編集に携わる。主な著書は「サクッと1分間整理・ファイリング術」「整理がうまい人のアナログ文具★超活用法」「頭のいい人がしている1日1分のビジネス手帳術」「残業がイヤなら朝ひと駅歩きなさい!」など。

日経 PCオンライン「紙の整理術」連載中
<http://pc.nikkeibp.co.jp/column/>



学

生の頃、2年生になるまでの単位がほとんどなくて、中退するかそれとも踏ん張って勉強するかという状況に追い込まれました。当時はレポートが多くて、卒業目指してレポートを書いたことは、今の仕事の「書く」ことの基本になっています。



す。締め切りに追われる感じの原点はどこか?というところ、やっぱりレポート。週5つ6つレポートを出して、大変でした。

また、大学4年の時、母親が命にかかわるような病気で入院して、毎晩のように看病していました。点滴が1分以上ははずれると危険という状況でしたので、ずっとそばにいないといけないかったです。そんな時は本を読むくらいしかできないと、病院の売店で本を買って読んだことがきっかけで読書にはまってしまい、その後も読書は続きました。そんな経験もライターのベースとなったのかもしれない。

卒業後はリース会社に就職、営業の仕事をしていました。ある日、現場のマニュアルを作るようになったのですが、その時書く

ことの意識が芽生え、いきなり書くことが好きになったのです。そして29歳の時、これがラストチャンスだと思って会社を辞めたのです。

ものすごく遅いスタートで、本当にライターになれるのか不安でしたが、苦労もしました。コピーライターとして働きたのですが、デザイナーに「日本下手」と酷評されたこともありましたが、キツかったですね。時代の流行をキャッチして商品をプロモーションするコピーライターは、自分にあまり向いてなかったようです。

コピーライターを辞めたとき、こうなったらとことんやってみようと思ひ、ゴーストライターとして再出発したのです。仕事をくれないかと片っ端から出版社に連絡し

ました。すると評価されて、ある出版社から整理・ファイリング術の本を書いてみないかと。でも、整理とかは不得意なので最初断ったくらいですが、でもいざ書くとなったら整理オタクみたいになって…(笑)。

整理関係の本はこれまで3冊出しました。著書は実用書が中心で、今は脳神経外科の先生と「脳科学的仕事術」をテーマに取り組んでいます。これからもジャンルを問わず、社会人2・3年目くらいの人が読んで、困っていることが解消できるように本を書き続けたいですね。

これからの時代は守りに入らないで新しいことに挑戦していくことが大切だと思います。そして、いらぬ物はどんどん捨てていきましょう。それが整理のコツです。

地

元神戸の大学でしたし、就職に結びつくイメージもあって流科大を選びました。入学式で中内理事長と握手してごあいさつしたことを思い出します。理事長はカリスマのオーラが出ていましたね。

学生時代はたくさんの人と出会って、それを通じて自分自身が成長できたのではないかと思います。授業で印象深かったのは、ゼミの先生の生活ファイナンス論ですね。金融というと銀行のように他人のお金を運用する仕事についてのが多いのですけれど、自分のポケットを通して金融を考える授業でしたので興味深く、人生設計など今でも役立つと思います。

私が4年生だった年は同時多発テロなど

激動の年で景気も悪く、就職活動は大変でした。バンドー化学を選んだのは、1906年創業と百年にもなる歴史を持つ神戸の会社なので安心して働けると思ったからです。はじめは東京支店に配属され、コピー機やファックスなどの部品関連の営業を担当、その後自動車に組み込まれるベルト関連の営業にて9年間営業一筋でやってきましたが、今年の春から広報担当へ異動になりました。

今の仕事は主に広報活動と広告関係、社内報などです。広報ではまだ新米なので悪戦苦闘中ですが、半年経って広報は営業と似ていると思うようになりました。営業は製造とお客様との間、広報は会社と社会との間ですので、営業の経験が生きているな

と感じています。

広報は社内外の人とのコミュニケーションが重要なので、大学で学んだ人との出会いの大切さを仕事で実感しています。また、IRなども部担当しますので、ファイナンスの知識も役に立っています。演習で早くからパソコンに触れていたため、パソコンのスキルはすぐ実践に活かされましたね。でも、今思えば、留学制度を利用して海外に行けばよかったと思います。

同窓生との交流といえば、親しい同期生とたまに食事に行くくらいですが、この春から神戸勤務になり、先日同期生とポートライナーではったり会って驚きました。有朋会の活動に参加したことはありませんが、神戸に戻ってきたのを機に有朋会を出会いの



複写機などに組み込まれる部品

場にしていければと思います。家も流科大の近くなので、たまには図書館なども利用してみたいですね。あと、最近フェイスブックをはじめました。今はバーマをあてていた当時の面影はありませんが(笑)、もしご興味があればアクセスしてください。



長谷川 武郎さん プロフィール

2002年 3年 商学部ファイナンス学科卒

卒業後、バンドー化学株式会社に就職。東京支店で複写機部品の営業を担当。4年半後に大阪支店へ転属となり、自動車部品の営業で実績を積み重ねる。今年4月から本社経営企画部で広報の仕事に情熱を傾けている。

**出会いの大切さを学んだ
母校の絆を大切に
これからも新しい縁を**



学園祭 「集まれ！同窓生」大盛況でした

流通科学大学の学園祭「流行祭」が10月15日・16日にかけて行われ、有朋会も同窓生イベント「集まれ！同窓生」を開催いたしました。今年も、後輩のイベントを見に来られた方など、多くの同窓生が会場に足を運ばれ、中には偶然にも卒業以来の再会をする方や、新たに知り合いとなられた方もいらっしゃいました。また、今年は神戸支部企画のセミナーも行われました。同窓生の方を講師に迎え、近年話題となっているFacebookについて、わかりやすい説明をして頂きました。

今年も沢山の交流や再会のあった「集まれ！同窓生」。来年もぜひお集まり下さい。

学園祭 「集まれ！同窓生」大盛況でした





2011年8月6日(土)、流通科学大学にて有朋会総会が行われました。総会では2010年度の活動を事業報告や決算報告を資料をもとに総括し、2011年度の事業計画や予算も資料に基づいて審議した結果、それぞれ承認されました。



今年度は有朋会が設立して20周年を迎えるにあたり記念事業が沢山行われることになりました。その案内や結果は、情報誌や会報誌及びホームページで随時報告されています。

総会の終了後、従来の7支部の代表から活動報告や今後の計画について説明がありました。その後、記念事業の一環として新たに発足したばかりの神戸支部と大阪支部の両支部長から、活動プランの披露があり、会場はその情熱と意気込みに圧倒されていました。

2010年度決算 (2010年4月1日から2011年3月31日まで)

【 収 入 】 (単位: 円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
前年度繰越金(資産運用委託金含む)	294,869,781	294,869,781	0
会費収入	29,750,000	31,550,000	△ 1,800,000
卒業予定者数	850名	902名	△ 52名
受取利息収入	20,000	8,125	11,875
カード収入	1,500,000	1,651,583	△ 151,583
広告宣伝収入	50,000	50,000	0
各種懇親会参加費収入	180,000	199,500	△ 19,500
記念グッズ等収入	0	10,000	△ 10,000
資産運用収入	800,000	353,600	446,400
合計	327,169,781	328,692,589	△ 1,522,808

【 支 出 】 (単位: 円)

勘定科目	予算額	決算額	差異
備品・消耗品費	360,000	221,030	138,970
印刷費 会報誌	2,500,000	2,063,775	436,225
封筒・ハガキ	900,000	808,920	91,080
その他	100,000	76,755	23,245
通信費	2,206,386	2,206,386	0
会議費	180,000	72,423	107,577
交通費(出張旅費含む)	1,000,000	991,850	8,150
年間事業費 学園祭	200,000	194,573	5,427
ホームページ	1,800,000	1,668,790	131,210
セミナー・イベント	90,000	5,000	85,000
グッズ制作	450,000	449,085	915
カード還元事業	200,000	0	200,000
ホームカミングデー	4,500,000	3,456,185	1,043,815
人件費	1,500,000	1,305,566	194,434
システム関連費	2,100,000	252,000	1,848,000
入会記念パーティー'10年度	5,500,000	4,594,725	905,275
義援金		905,275	△ 905,275
慶弔費	90,000	0	90,000
手数料等	40,000	17,405	22,595
支部交流援助金	630,000	394,000	236,000
支部年間事業費	400,000	34,222	365,778
個別同窓会援助費	1,000,000	790,000	210,000
大学助成(学生支援等)	1,000,000	100,710	899,290
カード加入促進費	1,000,000	892,000	108,000
予備費	193,614	58,392	135,222
資産運用委託金	280,000,000	280,000,000	0
小計	307,940,000	301,559,067	6,380,933
繰越金	19,229,781	27,133,522	△ 7,903,741
支出の部 合計	327,169,781	328,692,589	△ 1,522,808

2011年度予算 (2011年4月1日から2012年3月31日まで)

【 収 入 】 (単位: 円)

勘定科目	本年度	前年度	差異
前年度繰越金(資産運用委託金を含む)	307,133,522	294,869,781	12,263,741
会費収入	29,750,000	29,750,000	0
卒業予定者数	850名	850名	
受取利息収入	5,000	20,000	△ 15,000
カード収入	1,500,000	1,500,000	0
広告宣伝収入	50,000	50,000	0
各種懇親会参加費収入	150,000	180,000	△ 30,000
雑収入	0	0	0
資産運用収入	130,000	800,000	△ 670,000
合計	338,718,522	327,169,781	11,548,741

【 支 出 】 (単位: 円)

勘定科目	本年度	前年度	差異
備品・消耗品費	360,000	360,000	0
印刷費 会報誌	2,500,000	2,500,000	0
封筒・ハガキ	900,000	900,000	0
その他	100,000	100,000	0
通信費	3,465,000	2,200,000	1,265,000
会議費	180,000	180,000	0
交通費(出張旅費含む)	1,000,000	1,000,000	0
年間事業費 学園祭	200,000	200,000	0
ホームページ	1,800,000	1,800,000	0
セミナー・イベント	90,000	90,000	0
グッズ制作	450,000	450,000	0
カード還元事業	200,000	200,000	0
ホームカミングデー	6,000,000	4,500,000	1,500,000
人件費	1,500,000	1,500,000	0
システム関連費	2,100,000	2,100,000	0
入会記念パーティー'11年度	5,500,000	5,500,000	0
慶弔費	90,000	90,000	0
手数料等	40,000	40,000	0
支部交流援助金	900,000	630,000	270,000
支部年間事業費	410,000	400,000	10,000
個別同窓会援助費	1,100,000	1,000,000	100,000
大学助成(学生支援等)	1,000,000	1,000,000	0
カード加入促進費	0	1,000,000	△ 1,000,000
20周年記念事業	1,500,000	0	1,500,000
予備費	200,000	200,000	0
資産運用委託金	300,000,000	280,000,000	20,000,000
小計	331,585,000	307,940,000	23,645,000
繰越金	7,133,522	19,229,781	△ 12,096,259
支出の部 合計	338,718,522	327,169,781	11,548,741

東日本支部 潜在推定300名?の
東日本在住会員の
皆さまへ

設立年月日 1995年4月26日
支部長／吉田 幹夫 (94年3月卒)
副支部長／竹内 裕 (95年3月卒)
副支部長／齊藤 弘文 (96年3月卒)



東日本支部では新会員の皆さまや転勤等で東日本へ来られた皆さまを受け入れるため、年に2回(8月のピアガーデンと2月の勉強会&新年会)ホームカミングデーinTokyoとして定期的に集合しています。世代を超えた同窓生が神戸から遠く離れた東京で集まっています。仕事やプライベートを豊かにする支部運営を心がけ、皆さまが帰ってくる場所として、いつでも皆さまのご参加をお待ちしております。

神戸支部 地元神戸でのつながりを
大切にしています。

設立年月日 2011年6月18日
支部長／茨木 耕司 (95年3月卒)
副支部長／大谷 孝治 (94年3月卒)／新村 雅人 (96年3月卒)
三浦 芳嗣 (97年3月卒)／西田 光宏 (99年3月卒)
酒井 誠 (00年3月卒)／荒木 美千子 (06年3月卒)



今年の6月に神戸支部が結成され早や半年。地元神戸を拠点に、有朋会全体のイベントにも積極的に参加しています。10月の学園祭では支部イベントとして、9期生の酒井君が講師となり卒業生の輪を広げるきっかけづくりとしてFacebookセミナーを開催しました。次回は、新年1月21日(土)に食事と飲み物、そして卒業生バンドによる生演奏を楽しみながら新年会をします。ぜひご参加お待ちしております。

中部支部 新趣向の交流会を…

設立年月日 1997年9月13日
支部長／平田 雅輝 (94年3月卒)
副支部長／西川 和宏 (98年3月卒)



中部支部では例年、家族や恋人が同伴するアットホームな交流会を実施してきました。今年は例年とは趣向を変えて交流だけにとどまらない、同窓生にとって懐かしさと共に母校とのつながりを強く持っていただけるような会を実施しようと計画しております。現在、支部会員だけでなくゲストの参加をお願いしております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

中四国支部 来年こそは!

設立年月日 2006年12月9日
支部長／加藤 清司 (92年3月卒)
副支部長／山口 秀司 (92年3月卒)



有朋会の各支部が活動している中、中四国支部は近年交流会を開いておりませんが、初心に返って活力ある支部組織作りから始めようと思っています。来年こそは心機一転、まずはご家族で気軽に参加できるような集いや、同窓生同士の情報交換、異業種交流ができる場の提供、そして年に1回はセミナーも開催していきたいと考えています。中国地方、四国地方に在住の方で、支部スタッフとしてご協力いただけるかたはご連絡ください。お待ちしております。

大阪支部 お待たせしました!
2月新年会を開催!

設立年月日 2011年6月18日
支部長／山岡 哲也 (94年3月卒)
副支部長／鳥井 樹香 (98年3月卒)／木寺 明 (99年3月卒)／松崎 真尋 (02年3月卒)
高田 学 (02年3月卒)／岡田 瑞穂 (05年3月卒)



大阪支部が設立され、私たちは、単身者のみならず、家族でも参加出来るイベントを企画しています。食の都大阪だからこそ「食を豊かに・人を豊かに」を大切にできる支部活動ができればいい、と思っています。そして、お待たせしました2月上旬に新年会を開催します。大阪支部で取り組む予定の、アクティブなイベントや、日頃の悩み事など、皆さんでざっばらんに懇談できればと思っています。詳細は後日ご案内しますので、どうぞお友達をお誘いの上、お集まりください!

九州支部 人を大事にして
カタチに囚われない
自由な発想で。

設立年月日 1998年10月30日
支部長／野口 勝利 (93年3月卒)
副支部長／木田 典夫 (95年3月卒)
副支部長／三島 一郎 (04年3月卒)



今年も10月に岩谷大学事務局長をお迎えしてのヤフードームヘソフトバンクホークスの応援に行き、大盛況で終える事ができました。また、3月には勉強会を開催予定です。今回は井上先生から仕事に繋がる有意義な話を聴けて良かったと好評でした。九州支部では、人を大事にして、カタチに囚われない自由な発想で支部の輪をもっともっと広げて参ります!

大韓民国支部 顔の見える活動を
めざして

設立年月日 2004年7月3日
支部長／崔 甫息 (02年3月卒)
副支部長／朴 相賢 (02年3月卒)



日増しに寒さが募ってまいりましたが、暖かい雰囲気韓国の支部の集まりにお越しただければ幸いです!! つきましては、2012年の大韓民国支部では「顔の見える活動」が出来るように、有朋会員の皆さんだけではなく、一般参加も出来る研修会や、企業との交流会・研修会など、流通科学大学で学んだことを実践に移します。今後とも、よろしく願いいたします。

台湾支部 母校の発展に
寄与できるような活動を

設立年月日 2001年9月15日
支部長／陳 玉燕 (大学院01年3月修了)
副支部長／李 宗翰 (大学院07年3月修了)



有朋会の皆様、こんにちは。台湾支部のメンバーは常に母校の発展に寄与できるように意識を持って物事を考えています。支部長として私は、毎年5名の短期留学生を送り、母校の先進的な流通技術および知識を多くの方々と共に共有出来る様に紹介しようと思っています。また、勉強ができる台湾の高校生達にも母校で勉強したものを積極的に伝え、母校(流通科学大学)に募集することにも参加しています。母校に対する責任感と、これからの世代に何を伝えていくかを考えながら、日々を過ごしています。特に幸せな生活というのは、人のため、人類のために多少なりとも何かができることだとわかってきました。また、来年、台湾支部の例会以外に、2012年4月8日(日)に台湾の東部にある花蓮にてジョギングというイベントを開催いたします。ご都合を調整いただき、是非とも出席いただけます様にお願いいたします。

**中華人民共和国
(上海)支部** 支部交流会で新たな
ビジネスチャンス

設立年月日 2002年10月20日
支部長／趙 斌 (95年3月卒)
副支部長／王 海明 (00年3月卒)



有朋会上海支部は2003年に設立して、登録されている有朋会会員は約30名になっています。毎年数回会員活動を実施しています。活動内容は会員皆様の要望に応じて温泉旅行、食事会等色々あります上海は世界一活気がある中国の先頭に立って、毎年ではなく、3ヶ月でも変化を感じられる面白い都市です。大学の先生達、同窓生及び在学生達が上海に寄る時は是非声をかけてください。一緒に美しい上海の夜景を見ながら、美味しいショーロニーを食べましょう。来年1月中旬に、有朋会上海支部の交流会を上海市内のレストランで開く予定です。世界各地にいる同窓生達も時間があれば、是非ご参加ください。一緒に楽しい時間を過ごすと同時に、新たなビジネスチャンスが生まれるかも知れません。御待ちしております。



中内功ゼミ (創成塾) 同窓会

今年、初めて創成塾の同窓会を行いました。

学園祭の初日(10月15日)に母校で、13時から同窓生10名と足立先生、元岡先生の計12名で行いました。始めは足立先生の講義「中内功前学園長がゼミ生に伝えたかったこと」。レジュメを使い、社会人となつてからは久しくなかった講義の雰囲気、まず懐かしさを感じました。中内功さんの元で受けた講義のテーマを振り返り、指導について、人柄について、話は尽きることなく、笑いが絶えることなく進みました。途中、足立ゼミ生が作った話題の「RYUKA語録」のカレーを食べ、元岡先生から中内功さんの話を伺い、同窓生の近況報告を聞き、とても有意義な時間となりました。最後集合写真を撮った後、東利一先生、井上芳郎先生も教室に来られ、懐かしさにまた話が盛り上がりました。今回参加出来なかった創成塾の皆様!今後も、交流会や勉強会、色んな活動をしていく予定です。もっともっと参加者が増えて、ずっとずっと交流が続くように、色んな人が参加できるようにしていきたいと考えておりますので、次回は是非ご参加ください。

※RYUKA 語録カレー：本学創設者 中内功さんの愛したすき焼きを再現し、存命中にこよなく愛した流通科学大学学食カレーをアレンジしたオリジナルトルトカレー



創部20周年 女子ラクロス部OG会総会&懇親会開催

6月25日(土)、神戸ハーバーランドにて、
第一回女子ラクロス部OG会総会・懇親会が行われました。

今回のイベントは女子ラクロス部の創部20周年を記念して催され、約40名ものOGが集まりました。また、有朋会からも20周年を祝して、お祝いをお届けしました。はじめに行われた総会では、会長をはじめとする役員承認のほか、定期的な会合をもつ等規約についての説明が行われました。懇親会は、神戸の海を眺めながらの和やかな食事会となりました。各テーブルで、学生時代の思い出話に華が咲いたり、お互いの今を報告し合っていました。また、現役生からもビデオメッセージが贈られました。去年の戦績報告と共に「女子ラクロス部は20周年、自分も20周年(20歳)」というメッセージが会場の笑いを誘っていました。そのほか、工夫を凝らしたイベントも行われ、大いに盛り上がりました。OG会会長芝田真里さんが「たくさんのOGにご参加いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。盛大な、楽しいPartyとなり、とてもうれしいです。今回参加できなかった方、ぜひ次回のOG会総会には出席くださいますよう、お願いいたします。懐かしく、楽しいひとときを用意しておきますので。。。というメッセージで締めくくりました。



男子バスケット部OB会を開催

世代を超えた繋がりを持てる事の素晴らしさを感じさせて頂きました。

2011年8月27日(土)バスケットボール部OB会を開催しました。今回は有朋会の個別同窓会の承認を受けての第1回目のOB会でした。大々的に告知をしたところ、総勢約30名の参加をいただきました。初めて参加いただいたOBも多くとても盛り上がり大変嬉しいことでした。これも幹事さんのご尽力があつてのことです。内容としては、11時からアスレチック棟で行われた現役生の県総合大会の試合観戦。16時30分からOB同士による紅白戦と現役生との交流会。その後、同窓生が店長をする籠屋八兵衛学園都市店にて懇親会を行いました。特にOB戦で汗を流し、懇親会での楽しいひと時は、昔にタイムスリップしたような、笑いの絶えない時間となりました。世代を超えても同じバスケット出身ということで、繋がりをもてることの素晴らしさを感じさせていただきました。来年以降も引き続き行っていく予定です。



新任幹事紹介

氏名	卒業年度	学部
山岡 哲也	1994年3月卒	商学部(3期生)
茨木 耕司	1995年3月卒	商学部(4期生)
齊藤 弘文	1996年3月卒	情報学部(5期生)
木 寺 明	1999年3月卒	商学部(8期生)
西田 光宏	1999年3月卒	商学部(8期生)
酒 井 誠	2000年3月卒	商学部(9期生)
高 田 学	2002年3月卒	商学部(11期生)
秋山 拓哉	2010年3月卒	情報学部(19期生)
岡本 茉里	2010年9月卒	商学部(19期生)
黒坂 周平	2011年3月卒	情報学部(20期生)
村上 アカネ	2011年3月卒	商学部(20期生)

実学サロン開催

9月30日に流通科学大学大阪オフィスにて第1回実学サロン、11月4日に第2回実学サロンが開催されました。

有朋会大阪支部も協力をした今回の企画ですが、同窓生のほか一般の方にも多数ご参加頂きました。

第1回では株式会社フェリシモ代表取締役社長の矢崎和彦氏をお招きし、「しあわせをデザインする仕事～フェリシモのケーススタディ～」というテーマでご講演を頂きました。フェリシモの創業から現在に至るまでの歴史と、仕事のあり方や企業のあり方など、30分ながら非常に中身の濃いお話を頂きました。

第2回では株式会社カスミの小濱会長をお招きし、ご講演を頂きました。ご自身の経歴や中内功前学園長との接点などお話頂き、皆さん興味深く聞きいっておられました。質疑応答でも様々な質問が出てきましたが、小濱会長はそのひとつひとつを丁寧に、そして熱く答えていらっしゃいました。

第1回・第2回ともに講演後は懇親会が行われ、直接質問をする姿や参加者同士で交流する姿がみられました。



日帰り親睦旅行～和歌山マリーナシティの旅～



11月19日(土)、「日帰り親睦旅行～和歌山マリーナシティの旅～」が行われました。当日はあいにくの雨模様でしたが、80名近い同窓生、同窓生のご家族に参加いただきました。

人数が多かったため、今回は2台のバスに分乗。道中では自己紹介などが行われ、和気あいあいとした雰囲気での和歌山へと向かいました。和歌山マリーナシティ、黒潮市場に到着した後、まずは昼食の海鮮バーベキュー。テーブルについた時はお互い初対面という方も多く、はじめはぎこちない風もありましたが、食事とともに会話も弾んでいきました。昼食後は皆さん黒潮市場での買い物や、マグロの解体ショーなどを楽しまれていました。特にマグロの解体ショーは大迫力で、多くの方が熱心に見入っておられました。マリーナシティの後、本来はみかん狩りの予定でしたが、あいにくの天候だったため湯浅の醤油工場見学に変更となりました。スタッフの方に工場の案内と説明をして頂き、皆さん真剣に見学しておられました。

有朋会では今後も、楽しみながら交流できるイベントも企画してまいります。その際は是非、ご参加ください。



学生有志による「神戸ともしびプロジェクト」による募金活動が行われました。

さる11月5日(土)、神戸市長田区の大正筋商店街にて、東日本大震災からの復興を支援する流通科学大学学生有志の「神戸ともしびプロジェクト」による募金活動が行われました。今回の活動は、同商店街の歴史を振り返る「大正百年記念 大正ウィーク」と合わせて行われ、被災地へ街灯を贈る支援募金を呼びかけた他、仮装パレードに参加するなど商店街と一体となった取り組みを展開しました。

参加した時井勇樹さん(サービス産業学部3年生)は「地域と一緒にやって行くことが重要だと感じた。被災地はまだまだ復興途中なので、今後也要望に応えていけるよう支援活動を続けたい」と熱く語っていました。



故田中隆之さんを偲ぶ植樹が行われました。



大学職員として1993年10月に着任され、2011年3月まで在職されていた故田中隆之さんを偲ぶ植樹が11月16日行われ、田中さんご家族、大学関係者、学生等多くの方が参加されました。

植樹式の開催にあたり、参加者全員で黙とうが行われました。

その後、足立先生による挨拶があり、田中さんのお人柄や生前のご活躍などのお話いただきました。

また、参加者を代表し、田中様ご家族、石井学長、足立先生、岩谷事務局長が土を被せられました。

最後に田中さんの奥様よりお礼の挨拶があり、植樹式は終了しました。

田中さんの思い出とご活躍は、植樹された木と共にいつまでも大学に残っていきましょう。



和太鼓部が初めて主催した演奏会「流風和奏」を開催!!

2011年11月23日(水)に、本学RYUKA HALLにおいて和太鼓部が主催する初の演奏会「流風和奏」を開催しました。

この演奏会は、神戸を中心に活躍する須磨翔風高等学校和太鼓部との合同演奏会で、本学和太鼓部は「響の織」「海洋」など4曲、須磨翔風高等学校和太鼓部は「黎明」「剣豪の城」など3曲を演奏しました。また、本学和太鼓部のOB・OGで組織する「和太鼓心響流」が「流星」を演奏し、ゲストとして毎月指導を受けている元松村組の和太鼓奏者、木村優一氏を招き「大太鼓独奏」を楽しみました。そして最後に出演者全員で「大地」という曲を演奏し、500名を超える観客から大きな拍手をいただきました。

演奏を聴かれた40代の女性は、「感動しました。涙がでました。心の中に響くのですね。今の日本に「元気を出せ」と言っているようで幸せな気持ちになりました。また演奏会をしてください。」と語ってくださり、出演者一同身が引き締まる気持ちになりました。

OB・OGの「心響流」のメンバーは、週2回仕事が終わって遠くは姫路から本学に駆けつけ、22時半ごろまで練習を繰り返してきました。2004年に和太鼓部を創設したメンバーの内藤有理子さんは、演奏後「私達が7名で作った和太鼓部が、今年度は20名以上の大きな組織となり、このように一緒に演奏できたのはとても感慨深いものがあります。現役のチームと刺激あって流通科学大学和太鼓部を更に大きく発展させていきたい。」と力強く語っていました。



2011年度クラブ活動成績



体育会

アメリカンフットボール部 硬式野球部

関西学生アメリカンフットボールリーグ Div.3 Aブロック 2位
阪神大学野球連盟春季リーグ 2部リーグ 西ブロック優勝

サッカー部

関西学生サッカーリーグ(前期) 2部リーグ Bブロック 8位
関西学生サッカーリーグ(後期) 2部リーグ Bブロック 7位

男子ソフトボール部

春季関西学生ソフトボールリーグ戦 3部リーグ Bブロック 2位
秋季関西学生ソフトボールリーグ戦 3部リーグ Aブロック 3位

女子ソフトボール(サークル) 卓球部(男子)

秋季関西学生ソフトボールリーグ戦 3部リーグ 5位
春季関西学生卓球リーグ戦 3部リーグ Bグループ 1位

卓球部(女子)

秋季関西学生卓球リーグ戦 3部リーグ Bグループ 4位
春季関西学生卓球リーグ戦 3部リーグ Bグループ 3位

男子硬式庭球部

関西大学対抗テニスリーグ戦 5部リーグ 3勝1敗
関西大学対抗テニスリーグ戦 5部リーグ 3勝1敗

女子硬式庭球部

エンデュロごっこ大会 個人 中級クラス 14位

Mystique

男子バスケットボール部

兵庫県学生バスケットボール選手権大会 優勝(流通科学大学A)
関西学生バスケットボール選手権リーグ戦 2部リーグ 5位

男子バレーボール部

関西大学バレーボール連盟 男子春季リーグ 8部リーグ 優勝
関西大学バレーボール連盟 男子秋季リーグ 7部リーグ 6位

女子バレーボール部

関西大学バレーボール連盟 女子春季リーグ 7部リーグ 優勝(昇格)
関西大学バレーボール連盟 女子秋季リーグ 6部リーグ 優勝(昇格)

男子ラクロス部

関西学生男子ラクロスリーグ 3部リーグ Aブロック 3位

女子ラクロス部

関西学生女子ラクロスリーグ 3部リーグ Cブロック 3位

軟式野球部

西部大学野球連盟 春季リーグ 2部リーグ 優勝(昇格)

ラグビー部

関西大学ラグビーフットボールリーグ D4リーグ 7位

陸上競技部

兵庫学生陸上競技対校選手権 800m/1500m 黒田 和希 3位
関西学生陸上競技対校選手権大会 800m6位/1500m5位 黒田 和希

和太鼓部

第11回きたろうカップ境港駅伝競技大会
2011びわ湖大学駅伝
和太鼓松村組「大地〜心の鼓動〜」出演
神戸まつり「KOBE夢太鼓」出演
「ハロウィンイベント」子どもたちに太鼓指導
第15回西区健康・福祉フェア「ふれあいステージ」出演
流通科学大学・須磨翔鳳高等学校第1回合同演奏会「流風和奏」

文化会

RYUKA-STYLEプロジェクト

RYUKA-STYLE 発行(4・7・10・12月)
新入生向け冊子「Ryuka Student Passport」発行

吹奏楽団

ウェブサイト「RYUKAクラブ辞典」運営
サマーコンサート開催(6月)

比較文化研究会

西区学園夏まつり(8月)
西区健康・福祉フェアふれあいステージ出演(10月)

情報フォーラム部

春の遠足 京都電車ツアー(4月)
ひょうご観光と王子動物園お花見ツアー(4月)
国際文化交流(5月・須磨海浜水族園)
親子で楽しむインターネット教室(8月・須磨海浜水族園)
同教室への協力に対して主催のCOPLより感謝状(11月)
学園夏まつりに出席

現代視覚文化研究会

学園夏まつり出席

点字ボランティア部Hamy²

学園夏まつり出席
西区健康福祉フェアに参加

福祉ボランティア部ミルクティ

「まほろばカーニバル」(社会福祉法人まほろば主催)に参加
福祉施設「風と緑」でボランティア

社会イベント隊ランニングボランティア部

「まほろばカーニバル」に参加
「まほろばカーニバル」(社会福祉法人まほろば主催)

写真部camera obscura

「須磨海岸クリーン作戦」に参加
学園祭で作品展示

児童ボランティア部 ALL-IN

「まほろばカーニバル」(社会福祉法人まほろば主催)
「須磨海岸クリーン作戦」に参加

有朋会カードのご案内

有朋会カードは流通科学大学同窓生・教職員のみ持つ事ができるカードです

有朋会カードはクレジットカードとしての機能に加え、ホテル婚礼割引、ポイントカードなど様々な特典がついております。

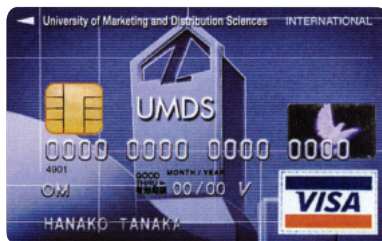
有朋会カードは皆さんに使って頂いている総額の0.5%(会員への負担は一切ありません。2010年度は約170万円でした)を同窓会運営の財政基盤として役立たせていただいております。カード申込資料はインターネット(URL:<http://www.yuho-kai.com/misc/card.html>)からでも請求できます。まずは有朋会事務局までお問合せください。おつて資料をお送りいたします。

特典1 商品券などに交換できる「わくわくポイント」サービス

特典2 毎月抽選で150名様にハワイ・国内旅行プレゼント

特典3 OMCカードご優待デー
毎月第2・第4日曜日はダイエーグループ各店、
流通科学大学有朋会カードご利用で**5%OFF**

特典4 ANA クラウンプラザ神戸、西神 オリエンタルホテル、
メリケンパークオリエンタルホテルで結婚式をされると特別サービスがあります



※ホテルの特典はホームページでご確認ください。

有朋会 携帯サイト

下記QRコードより有朋会携帯サイトへアクセスすることができます。

同窓会の最新情報、大学からのお知らせ、
異動された時も携帯電話から変更することが可能です

- ★ 有朋会インフォメーション(新着)
- ★ キャリアアドバイザー募集
- ★ 異動通知
- ★ 住所・姓名変更
- ★ 各種証明
- ★ 施設利用について
- ★ 祝電
- ★ 一言メッセージ



有朋会 Mobile
<http://yuho-kai.com/mobile>

パート職員募集! 仕事内容:有朋会での事務処理、電話対応。(ワード・エクセル使用できる方)

時給:820円(試用期間2ヶ月あり800円)
通勤手当:実費(上限 2万円/月)※マイカー通勤不可
勤務:週4日(日祝を含む週3日休み)
10:00~17:00(実働6時間、休憩1時間)
問い合わせ先:流通科学大学 総務人事課 TEL 078-794-3514

異動報告のお願い

姓名、住所、電話番号、勤務先等の変更がありましたら、有朋会事務局までお知らせください。変更手続きは有朋会HP、携帯サイトからでもできるようになっています。

※住所、氏名等の変更手続きがなければ郵送物(会報誌等)が未着となりますので、必ずご連絡ください。ようご協力よろしくお願い致します。

皆様の近況をお知らせください!

皆様の近況や一言メッセージをお寄せください。(なるべく写真を添えて100字~600字程度。)今後、情報誌やホームページ上でご紹介していく予定です。
有朋会HP、携帯サイトからも送っていただけます。

※ご紹介できない場合もあります。ご了承ください。

有朋会ホームページ更新中!

懐かしい思い出も、最新の出来事も記録し続けます。

●卒業式や大学の風景など、もう一度見たい行事や景色のリクエストをお寄せ下さい。

リクエストのあった行事を記事にします
まずはお気軽にリクエストをお寄せください!

Facebookも展開中

有朋会 検索

企画発行元

有朋会事務局

〒651-2188 神戸市西区学園西町3丁目1番
TEL:078-796-4397 FAX:078-796-4124
E-mail:umds_yuho@red.umds.ac.jp

有朋会 HP URL <http://www.yuho-kai.com/>

大 学 HP URL <http://www.umds.ac.jp/>